

報告されている課題

報告されている課題の収集

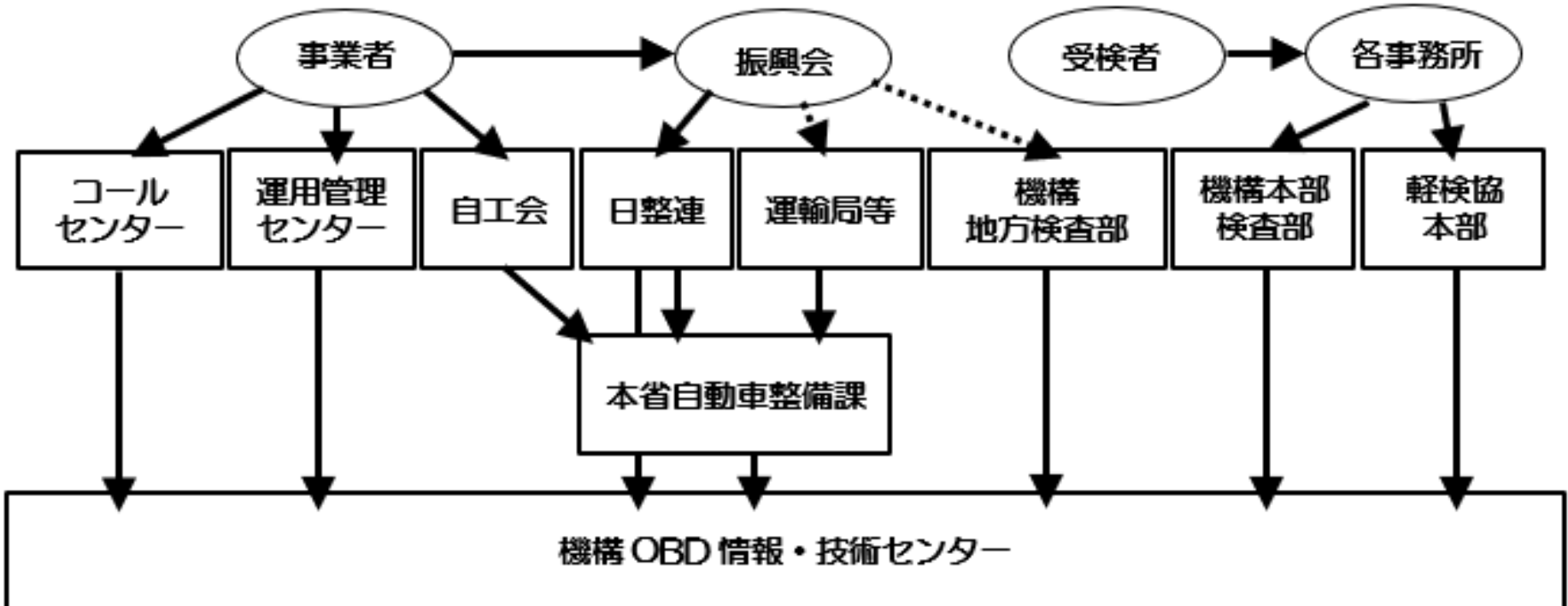
第1回OBD検査モニタリング会合 資料4-1より再掲(※情報収集期間のみ更新)

- 令和6年10月1日から法令が適用となったOBD検査を通じて得られた課題について把握するため、整備事業者関係者及び検査場関係者から情報収集を実施。
- 情報収集フローは下図のとおりであり、独立行政法人自動車技術総合機構において一元的に課題を集約することとしている。

※情報収集期間：令和8年2月17日～令和8年5月19日

【整備事業者関係】

【検査場関係】



報告されている課題

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
1	振興会	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査を行ったところ、【エラー:EF902】(※)が表示されるとともに、検査結果には「適合」と表示された。 ● この場合、<u>OBD検査が正常に完了しているのか判断ができない。</u> <p>※当該エラーが発生した場合、以下のメッセージが表示 「【エラー:EF902】通信エラーが発生しました。同じ操作を実行するか、(詳細)をクリックして対処方法を確認してください。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査実施後、結果詳細の確認などの際に通信エラーが発生した場合、検査結果に「適合」と表示されつつ当該エラーの表示が出ることがあります。 ● この場合、<u>OBD検査は正常に完了していることから、通常どおりOBD検査を完了しても問題ありません。</u>

報告されている課題

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
2	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査を行ったところ、「<u>お使いの検査用スキャンツールは認定されていない可能性があります。</u>」とメッセージが表示されたが、<u>認定されていない可能性があるのであれば、合否判定を表示させないよう</u>にしてほしい。 ● <u>アプリ画面上部のメッセージに気づかず、意図せず不正車検を行ってしまう可能性がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>認定を受けた検査用スキャンツールでなければ、OBD検査に使用してはいけません。</u> ● <u>検査用スキャンツールの認定状況については、現在、検査用スキャンツールが認定された後に受け取る情報をOBD検査システムに反映することにより判断していますが、これには約2週間の時間がかかります。</u> ● <u>したがって、認定されてすぐの検査用スキャンツールについては、OBD検査システムへの反映が間に合いませんが、「認定されてすぐの検査用スキャンツールでOBD検査を実施できるようにしてほしい」との指定整備事業者等からの声を踏まえ、認定されていない可能性についてメッセージを表示しつつ、OBD検査を完了できる仕様となっています。</u> ● <u>OBD検査システムへの負担を踏まえつつ、この仕様を見直すべきか、技術連絡会において関係者と検討します。</u>
3	軽検協	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>OBD確認の実施が少ないためか、検査場におけるOBD検査の省略件数が増加していない。</u> ● <u>OBD確認を実施することで検査場と認証工場の双方にメリットがあることから、関係機関(運輸支局、機構、軽検協、振興会)と連携し、認証工場におけるOBD検査システムの利用促進に向けた取組みをお願いします。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>OBD確認についての周知等を通じ、認証工場におけるOBD検査システムの利用促進に向けた取組みを実施してまいります。(議題(5)で議論)</u>
4	自動車ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>整備工場に車検等で入庫したところ、OBD検査対象外車両にもかかわらず、OBDについて料金を請求された。(※)</u> ● <u>整備工場からしっかり説明してほしい。</u> <p>※ OBD点検とOBD検査を誤認されたものと思われる。また、国土交通省に寄せられた情報では、自動車メーカーの窓口でも同様に誤認しているケースが確認されている。なお、OBD検査対象外車両に対し、OBD点検のための料金を請求するのは問題ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>OBD検査とOBD点検は異なるものです。(詳細は参考資料4を参照)</u> ● <u>整備事業者においては、OBD点検に係る料金請求を行う際は、OBD点検の対象車はOBD検査の対象車とは異なる点などについて、入庫した自動車ユーザー等に対ししっかり説明されるようお願いいたします。</u> ● <u>自動車メーカーにおいては、OBD点検はOBD検査と異なることについて、お問い合わせのあった自動車ユーザー等に対し適切に説明されるようお願いいたします。</u>

報告されている課題

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
5	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>OBD検査を実施する際にエラーが発生した場合、検査用スキャンツールの設定やファームウェア/ドライババージョンの確認が必要となる場合があることから、当該エラーの解決にあたり当該ツールメーカーへの問い合わせを要することがあるが、土日祝日はツールメーカーが休業日である場合が多く、すぐにエラーを解決することができない。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● エラーの内容によっては、<u>ツールメーカーにお問い合わせいただかないと解決が難しい場合があります。</u> ● <u>あらかじめご理解賜りますようお願いいたします。</u>
6	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>メール認証への移行について、利便性向上のためと説明されていたが、どこが向上するのか具体的に案内して欲しい。</u> ● <u>また、検査員や工員1人1人にPCがあるわけではない為、個人ごとメールアドレスを付与できない一方で、一定期間経過すると1人1人メール認証が必要になることから、今より利便性が損なわれている気がする。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>メール認証方式では、クライアント証明書方式で必要となる各端末ごとの証明書の発行・更新・インストールが不要となり、初期準備や端末の更新・追加時の対応が容易になります。(詳細は参考資料5を参照)</u> ● <u>なお、今後、行政手続のオンライン化など、個人のメールアドレスが必要となる場面が増えてくることが予想されることから、検査員や工員1人1人にメールアドレスを付与することを推奨します。</u>